

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 8 回中央地区まちづくり会議				
事務局 (担当課)		中央区役所 地域振興課 本庁地域まちづくりセンター 電話 0 4 2 - 7 0 7 - 7 0 4 9 (直通)				
開催日時		平成 3 1 年 2 月 1 4 日 (木) 1 9 時 ~ 2 1 時				
開催場所		中央公民館コミュニティ室				
出席者	委員	2 1 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	2 人 (本庁地域まちづくりセンター)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 事務連絡 (1) 中央地区まちづくり会議情報について (2) 委員の公募について (3) 中央区区版広報アンケート報告書 (概要版) について 3 議 題 (1) 地域活性化事業交付金について (2) 中央地区地域活性化事業交付金事業報告会について (3) 中央地区まちづくり会議の取り組みについて (4) 新年度の中央地区まちづくり会議について (5) その他 4 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開 会

牛尾会長あいさつ

2 事務連絡

(1) 中央地区まちづくり会議情報について

事務局から、平成30年度の中央地区まちづくり会議活動内容を3月1日号の中央地区地域情報紙に掲載する旨を説明した。

(2) 委員の公募について

事務局から、平成31年度中央地区まちづくり会議の公募委員募集について説明し、適任者の紹介と応募を依頼した。

(3) 中央区区版広報アンケート報告書(概要版)について

まちづくり会議委員を対象とした区版広報アンケートについて、結果の取りまとめが完了したため、事務局から報告書(概要版)の概説を行った。

3 議 題

(1) 地域活性化事業交付金について

第7回中央地区まちづくり会議において追加実施が決定した「中央地区振り込め詐欺対策事業」について、事務局から申請個票に沿って事業内容を説明した。また、作成する詐欺防止ステッカーについて、未確定のデザイン等について議論を行った。

主な意見・質疑

○デザイン案について、修正を加えることは可能か。

修正案を作成し、デザイン提供者に確認を取ることになる。

○ステッカーが何を意図したものかわかるように、「振り込め詐欺にご注意!」という文言を追加してもらいたい。

○追加する文字は、赤や黄色などの目立つ色調にしてもらいたい。

○外枠をつけてステッカー全体を強調するのもいいだろう。

結果

事業を推進することです承された。ステッカーデザインについては、意見を踏まえ修正案を作成することとなった。

(2) 中央地区地域活性化事業交付金事業報告会について

平成31年4月13日(土)に開催を予定している中央地区地域活性化事業交付金事業報告会について、実施要領(案)と運営計画(案)に沿って事務局から説明した。

主な意見・質疑

○後半で予定しているまちづくり講演について、講師の松下氏は、南区区民会議の会長もなさっており、地域の皆さんにとって役立つお話が聞けると思う。せっかく講師を招いて行うものでもあるので、多くの方に参加いただけるよう、委員の皆さんも働きかけをお願いしたい。

(3) 中央地区まちづくり会議の取り組みについて

次年度のまちづくり会議を進めるうえで、課題や取り組みの方向性等を自由意見として聴取した。

主な意見

○人が確保できないという理由で、地区で行っている青色防犯パトロールが減ったが、続けて行ってほしい。また、矢部の交番設置の要望が実現しない一方で、南橋本では40年来の要望に応じて交番が新設された。中央地区でも、行政に要望して終わりではなく、地域としての実現に向けた取り組みを検討したい。

○大和市の公園には、健康遊具なる大人の健康のための設備がある。単なる希望になるが、中央地区の公園にもそういった設備があるといい。

○学校の部活が縮小される流れの中で、地域として子どもの受け皿を作る必要があると考えている。コミュニティ・スクールの取り組みとも連携しながら検討していきたい。

○祭りにおける音のトラブルで警察に通報が入るなど、地域イベントの実施のハードルが上がっているように感じる。具体的な取り組みということではないが、地域活動の継続において懸念している。

○家にこもりがちな高齢者に安全・安心活動への協力を促すことで、地域の安全と高齢者の健康が同時に期待できるなど、横断的な取り組みは可能だと思っている。地域の各団体の活動には重複が多いため、労力、効果の両面でこのような横断的な対応を行い、そのうえで不足する部分について市などに助力を求めるような現実的な流れを作りたい。

○富士見ブロックで人手が足りないとの理由で、青色防犯パトロールを減らしたが、意義を考えれば増やしたいところである。人手が足りないなら足りないなりに、パトロールの継続実施の方策を検討したい。また、屋外での祭りは実施のハードルが高いが、代わりに屋内でのコンサートを行っている。次年度以降も継続・拡大したいと思っており、協力をお願いしたい。

○地域の防災体制をより実践的にするため、避難所運営と地区災害対策本部、区役

所等の一体的な訓練を行いたい。すぐに実施できるとは思っていないが、段階を踏んで地域の防災力向上のための検討をしていきたい。

- 松が丘自治会は公民館から距離が最も離れており、高齢者が公民館イベントになかなか参加できない状況がある。何かあれば公民館に来れるような元気な高齢者を増やしていきたいと思っており、高齢者支援センターの力添えで比較的近隣で行っている百歳体操などは大変助かっている。こういった催しに参加を促して、もっと顔の見えるまちにしていきたい。
- 過去、歩道と車道の段差を解消するよう市に要望したが、一向に改善が見られない。早急に対応してほしいと思っている。また、別件だが、通学路の危険箇所点検等を重点的に行いたいと思っているが、PTAに促してもなかなか動いてくれない。まちづくり会議として、街並み点検の実施を考えるのもいいかもしれない。
- 市役所前さくら通り地区は中央地区のシンボルとして良いものとしていきたい。そのためには西門エリアの活性化は不可欠だと思っている。また、大学との連携にも注力していきたいと考えている。
- 地域で立ち上げた事業を安心して実施・参加するにあたり、実施者等への保険適用の有無は重要な要素である。現状、市の市民活動保険制度では、事業の実施者は保険の対象となるが、参加者は対象外になってしまう。事業の立ち上げを促す意味でも、青少年指導員等が独自に立ち上げた事業においても、参加者を含む関係者が保険適用を受けられるようにできないかと考えている。また、自治会加入率向上に関して、高齢者役員免除など制度化の検討が必要と感じている。
- 高齢者を中心とした移動困難者対策として、コミュニティバスの整備や民間バスの高齢者割引制度の斡旋、買い物困難者のための移動販売の地区導入などを期待する。
- 富士見小学校の校庭拡幅については、一部実施にとどまっていると認識しており、次年度は早々に行動を起こしたい。また、市役所前さくら通り地区は市の中心として風格ある整備等を求めたい。加えて、地区全体に係ることだが、自転車通行帯の整備・保守の徹底を求めたい。最後に、かねてから淵野辺公園のエリアが今一つ有効活用されていないと感じている。新磯の大凧センターではないが、地域の子供から高齢者まで交流が図れる施設を作ってほしい。
- 防犯カメラの設置補助金制度があるが、補助金を受けて設置する際、制限を受けて思うような設置ができなかった記憶がある。より使いやすい制度にして、地域防犯に役立ててほしい。
- 地域の世代交代、若者参加に特效薬はないと思っており、自治会等での地道な声掛けなどが必須である。若者の参加を望むのはどこの自治会でも同じだと思うが、一方で若者にあまり幅を利かせてもらいたくはない、というような思いを持っている役員等がいるのかもしれない。地域の世代交代を一息に進めるためには自治会役員の公募など、これまでにないやり方も検討しなければならないかもし

れない。また、児童の放課後の居場所確保について、行政に投げかけるような場面があると思うが、民業圧迫の懸念もあり、安易な施設整備等の要望は避けるべきと感じている。放課後子ども教室のような取り組みや地域での受け皿の確保を検討する必要があるかもしれない。

- 課題の優先順位としては、過去の抽出課題の中にある、「地域の世代交代・担い手不足解消に向けた取り組み」が一番だろう。具体的な取り組みということではないが、例えば各自治会の規約の集約・共有など、地域の担い手それぞれが取り組んできたことを共有し、次の方策検討の基礎にするというのは、有益なのではないだろうか。
- まちづくり会議の委員に女性が少ないことを問題視している。各団体からの推薦の際、女性を積極的に推薦してもらえるようにしたい。また、まちづくり会議に複数の部会を設け、それぞれが役割をもって課題解決にあたるというのもいいかもしれない。取り組む内容についても、毎年テーマを絞って1つでも2つでも解決したという成果が見えるようにしたい。
- 高齢者の福祉について、地域ケア会議で孤立防止の居場所づくりと外出を促すため、お出かけマップを作製した。元気な高齢者に地域の見守り活動に参加してもらうなど、地域での役割が本人の健康にもつながるとするのは地域ケア会議での取り組みとも矛盾しない。また、百歳体操の取り組みは広がってきたが、地域や時期によっては会場を確保できない場合がある。自治会館等の活用のほか、様々な人が自由に出入りできるコミュニティ施設があると助かる。全体として、団体や分野をまたいだ取り組みを検討すべきだと思っている。
- 緑区区民会議の会長を務める関東学院大学の牧瀬氏の話聞く機会があった。シビックプライドランキングという住民の愛着や誇り、共感といった観点での意識調査で、相模原市は軒並み低い順位だったという。しかし、一方で相模原市からの住民の流出は少ない。相模原市民の潜在的な地域への愛着を喚起する取り組みが必要だろう。具体的には、小・中学校での協働教育や、歴史学習を通しての地域連携、イベントなどだろう。喫緊の課題としては、イベントの際の人員確保があげられる。警察の指導で、警備員の配置が条件化される中、オリンピック・パラリンピックによる需要のひっ迫や夏休みの縮小によるイベント集中などで、さらに実施のハードルが上がる可能性がある。また、西門を例にとれば、夜桜まつりの際のトイレ確保も懸念材料であり、金銭面も含めた解決策の検討が必要と考える。
- 子供の安全に関して、通学路においても交通量が多く、見通しが悪い箇所が少なくない。車両通行禁止時間の設定など、改善策の検討が必要である。また、先日中央地区内で発生した刺傷事件の情報が学校を通して提供されたが、発生時間が深夜にもかかわらず、保護者のもとに情報が届いたのは明朝の登校時刻を過ぎてからだった。捜査上の事情があるのかもしれないが、保護者からは不安の声が上

がっており、改善を求めたいと思っている。地域の世代交代に関しては、現役世代が皆地域活動に参加したくないということではなく、十分に声をかけてもらえていないというのがあると思う。

結果

今回の意見を既出課題等と併せて一覧化し、新年度の会議において取り上げる内容を絞り込む。

(4) 新年度の中央地区まちづくり会議について

事務局から、平成30年度の中央地区まちづくり会議実施報告と平成31年度会議計画書の説明を行った。

(5) その他

木口委員から、まちづくり懇談会のあり方について意見があった。

発言内容

〇年に一つくらいは地域課題を解決したいが、現在のまちづくり懇談会では、そのような要望を行っても明確な対応が得られない。かつての市政懇談会のような、要望・交渉の場に戻してもらうなど、改める必要がある。

4 閉 会

以 上

第8回中央地区まちづくり会議(2月14日開催)出席委員名簿

	氏名	役職	選出団体名等	出欠
1	牛尾 良一	会長	中央地区自治会連合会	出席
2	鳥海 千秋		中央地区自治会連合会	出席
3	中川 清一		中央地区自治会連合会	出席
4	徳田 文夫	副会長	中央地区社会福祉協議会	出席
5	鎌倉 轟		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
6	小金澤 近雄		中央地区民生委員児童委員協議会	出席
7	篠崎 久誉		中央地区民生委員児童委員協議会	欠席
8	今井 千春		中央地区老人クラブ連合会	出席
9	岡野 博		中央地区青少年健全育成協議会	出席
10	松田 正則		中央地区健康づくり普及員協議会	出席
11	島村 春男		中央地区防犯協会	出席
12	山田 章		交通安全協会	欠席
13	岩下 孝二		中央地区連合自主防災隊	出席
14	中西 智子		中央小学校PTA	欠席
15	力石 武史		弥栄小学校PTA	欠席
16	佐藤 匠		富士見小学校PTA	出席
17	岡本 和茂	副会長	中央公民館	出席
18	浦上 裕史		中央地区内商店街	出席
19	澤畔 正裕		中央高齢者支援センター	出席
20	代田 昭		地域有識者	出席
21	布施 初子		公募委員	出席
22	倉澤 良明		公募委員	出席
23	木口 榮		公募委員	出席
24	小澤 隆宏		公募委員	出席
25	井之上 久		公募委員	出席